

令和5年11月14日

令和5年度第8回理事会及び第3回合同会議議事録

日時:令和5年11月14日(火)

第8回理事会 18時30分～22時30分

第3回合同会議 19時45分～21時00分

会場:Web会議

出席者:中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、中野理事、工藤理事、鈴木理事、實光理事、都留理事、千葉監事、安積局長、田籠局長、本田局長、齊藤第36回学術大会準備委員長、総務部中平

欠席者:稲村理事、早瀬局長

書記:井阪副理事長、中平

1 令和5年度第8回理事会議題

(1)承認事項

ア令和5年度第7回理事会議事録

資料参照の上、承認された。

(2)報告事項

ア 各局事業進捗報告

井阪副理事長より、総務部、財務部の進捗状況について資料に基づいて報告があった。現在、各局から提出された令和6年度の事業計画を取りまとめていることが追加報告された。安積局長より、情報管理局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。田籠局長より、生涯学習局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。本田局長より、教育局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。中川理事長より、臨床実習部の事業として認定臨床教育者講習会を開催しており、他士会からも注目されている状況であること、全国に先駆けて大阪モデルとして進めているが故に、センターと府士会の位置づけを改めて再認識する重要性が提言された。

イ 第35回大阪学会の収支報告書の件及び

ウ 第35回学術大会収支報告書の修正について

都留理事より、第35回大阪学会の収支報告書の修正について資料に基づいて報告があった。この件は、2023年10月20日、10月25日にメーリングリストにて審議を行い、承認を得ていることから今回は要点のみ報告がなされた。

エ 前期研修履修に関する報告

都留理事より、前期研修履修について資料に基づいて報告があった。入会者615名に対し、前期研修eラーニング登録者265名(43.1%)であったことについて、要因分析として①A項目履修者の8～9割がセンター主催研修の登録者であること、②eラーニングと併せたA項目受講率は4割前後であること、③(9月以降登録の)B・C項目の受講数が著しく低いこと、④ガイダンス後に入会手続きに至っていない対象者が相当数いることが説明された。特にB・C項目受講数が著しく少ないことについては、周知不足であることや、入会者そのものの減少なども要因になることが議論された。今後の対策として、①11月2日付で協会eラーニングへの誘導案内を行うこと、②9月のタイミングで、eラーニングの登録案内を定例化することが説明された。

オ 3士会合同研修会の準備状況報告

鈴木理事より、3士会合同研修会の準備状況について資料に基づいて報告があった。11月6日(月)に本会の外部監事である黒田監事(ST士会)、神尾監事(OT士会)、田籠局長、東藤副部长、鈴木の5名で検討した結果、開催時期は9月初旬、会場は森ノ宮医療大学、開催形式は午

後半日開催、テーマは「社会参加」、講師選定は大阪府に勤務する各士会の会員より行うことが説明された。また、将来的には複数の会場を用意し、専門的なディスカッションを計画すること、大阪府民対象の講演会も企画することが説明された。

カ 『主催』研修会開催マニュアルの改訂について

田箆局長より、主催研修会開催マニュアルの改訂について資料に基づいて報告があった。主な変更点として、独自要件である講師が登録理学療法士(認定・専門を有しない)場合の研修会の開催について注意点を記載したこと、申請からセミナー登録までの流れにおいて、開催申請書とセミナー登録用書式を合わせたもので申請してもらうことで、理事会承認後にそのまま事務員がセミナー登録できる流れにしたことが説明され、承認となる。射場副理事より、マニュアルの巻頭に変更内容の要点を明示することが分かりやすいとの提案があった。

(3) 審議事項

ア 2024年度理学療法士講習会(協会助成金)の採用について

受託研修部にて審査を行った結果、申請要件を十分に満たしていると判断し上村洋充先生(大阪鉄道病院)の「急性期呼吸理学療法の臨床実践」を申請することで承認された。

イ 次年度の臨床認定カリキュラムの参加費、講師料について

鈴木理事より今年度で脳卒中は終了とすること、他団体が開催する参加費を調べた結果、参加費に幅があることが分かった。当センターの設定金額は妥当ではあるが、採算面で検討が必要である。鈴木理事より複数パターン of 収支予算案の説明があった。その中から最も適当である案は 20,000 円(参加費/講師料)となりセンター講師謝金規程の要件に合致しないため、本件は限定として扱うことで承認された。採算が取れば、講師謝金規程の見直しの前例となりうる。

ウ 受託研修部(認定カリキュラム事業)部員増員について

鈴木理事より今年度実施した際に部員配置の問題が浮かび明らかな部員不足が生じたため急遽、旧部員(2名)に応援を依頼したとの報告があった。次年度も運営を円滑に進めるには部員増員が不可欠であると判断し増員2名について承認された。

エ 査読委員会の役割および査読候補者について

鈴木理事より査読候補者 452 名に対し委嘱状発行の要望と査読委員会の業務内容に関する内規の提出があり承認された。

オ 第36回大阪府理学療法学会大会開催企画書・事業予算書について

第36回学会大会の齋藤準備委員長より、第36回学会大会の開催企画書・事業予算書に基づいて報告があり、以下の内容で質疑が行われた。

- ①鈴木理事より、本学会は若手理学療法士が対象となる位置づけからすると、全演題を口述発表のみとする意図について質問があった。齋藤準備委員長から、一つ目には感染対策が理由であること、二つ目には前回大会からの継続として、企業展示数を増やすことが目的であることが説明された。
- ②工藤理事より、学生の発表についても口述発表のみになるのかとの質問があった。齋藤準備委員長から、学生も全て口述発表となることが説明された。
- ③中川理事長より、若い会員が発表する場の提供が大きな目標であることから、タイムスケジュールとして一般演題、シンポジウム、特別講演などが重複すると、一般演題に聴衆が集まらないことが予測されることが指摘された。齋藤準備委員長から、タイムスケジュールを再検討することが説明された。工藤理事から、参加者の動線を読んでタイムスケジュールを立案することの助言があった。

- ④鈴木理事より、大会テーマが大きいため、細目を設定し参加者へのメッセージを具体的に表現する工夫が必要であることが提案された。テーマであるリハビリテーション分野のDX化が、若手の研鑽にどのようにつながるのか、参加者に分かりやすく伝えることを検討することとなった。
- ⑤射場副理事長より、非会員の参加費は規定により 2 万円であるため、訂正が必要との指摘があった。また当日の受付で、名札を配布し会場内は常時携帯してもらうことを徹底することの要望があった。
- ⑥工藤理事より、他職種の参加費が 1000 円であることの意図が確認された。射場副理事長より、参加費はセンターの規定に則っており、他学会でも学際領域の他職種を会員より割安で参加促進している状況も散見できることが説明された。また、受付時に他職種と非会員の区別をどのように行うのかについて検討する必要があることが指摘された。
- ⑦井阪副理事長より、会場を当日早朝利用(午前 6 時～)することについて、スタッフの前泊、講師の前泊が必要になるのであれば、予算に計上することが必要との確認があった。齊藤準備委員長から、スタッフについては原則当日移動が可能であることが説明された。講師は前泊を予定しているが予算案に明記されていないため、再検討となった。
- ⑧井阪副理事長より、協会のクレジット決済ではなく、センターで利用しているクレジット決済代行STORESを利用することの要望があった。目的としては、参加者に会員登録をしてもらうことであることが説明された。齊藤準備委員長から検討することが回答された。

以上の質疑応答を経て、承認となる。

カ 財務処理に係る「規定」の改定について

井阪理事よりインボイス制度の導入に伴い、謝金等の税金に関する規定について該当する全ての規程について消費税及び源泉所得税の表記を追加するとの説明があり承認された。

キ 財務処理に係る「内規」の改定について

井阪理事より財務処理に係る規程の改定に伴い、内規も改定内容に合わせるとの説明があった。本件は承認された。

ク 第6回生涯学習研修集会の講師選定について

工藤理事よりニーズと集客を考慮するとなかなか厳しい状況である。技能を高める狙いを尊重すると同じテーマに偏りやすいとの説明があった。“集会”を意識しマイノリティーな領域までをカバーすることが公的な機関であるセンターの役割であり、それを考慮した企画が望ましいとの意見があり、現行の企画にプラスαして検討していくこととなった。講師候補リストのうち神経系のボバースコンセプトを除く提案は先に承認され、プラスαの企画については継続審議となる。

ケ 市区町村士会からの要望の検討について

工藤理事より主に枚方市士会からの要望について説明があった。各市区町村士会からの個別の要望に対応することは難しいためセンターとしては 4 月、8 月に一括して要望への回答を行う提案がなされ承認された。

コ ZOOM 新規契約について

實光理事より各部の活動に対応する ZOOM 予約対応に追い付かない状況であり、情報管理局に大きく負担が掛かっているため、使用の多い部に対し、部専用の ZOOM を配置したいとの要望があった。本件については、令和 5 年度予算未計上であるが、可及に対応する案件のため追加 6 件の契約

について承認された。次年度は今年度の利用状況を見て契約減数する可能性もある。

サ Microsoft 365 Business Standard 新規契約(まずは1ヶ月無料)について

實光理事より各部のデータ管理を一元化し、情報共有の促進を図るためまずは試行したいとの説明があった。実施して仕様性などを確かめ導入に向けて報告を行うことで承認された。

4 その他

井阪副理事長より以下の説明があった。

- ・特別委員会の各財務担当者を決めオンラインと手当等の説明を行う予定である。
- ・令和6年度収支予算案について検討会を12月に予定している。

以上

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	都留 貴志		職名	教育局理事
議題	第35回大阪学会の収支報告書の件			
内容及び提出趣旨	<p>第35回大阪学会の収支報告書は、9月の理事会で報告されましたが、報告後に訂正がありました。変更箇所と経緯は以下の通りです。</p> <p>【勘定科目の変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■グランキューブ関連の費用について：支払い手数料、雑費等→賃借料に変更 ■PC関連パーツ購入について：雑費→消耗品へ変更 <p>【総額自体の変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ランチョンセミナーでの弁当代について業者に直接請求書送付するものと認識していたが、業者→センターに入金、センター→グランキューブに支払いとなっていたセンター→グランキューブへの支払いのみ支出として計上されていたため、業者→センター入金分を企業展示収益に計上するように修正した ■7月1日の会場キャンセル料について、研修集会の費用として処理されるものと考えていたため学会収支としては計上していなかった 最終的にこれが会場費として計上された <p>修正版についてご確認いただき訂正等なければ事務局より公文書として発行、大阪府・大阪市へ提出したいと思えます。 学会終了から3カ月経過していることから早急に対応したいと思い、11月理事会ではなく役員MLでのご報告となりますこと、ご了承ください。</p>			
理事会での意見・内容等	<p>都留理事より、第35回大阪学会の収支報告書の修正について資料に基づいて報告があった。この件は、2023年10月20日、10月25日にメーリングリストにて審議を行い承認を得ていることから今回は要点のみ報告がなされた。</p>			
備考	添付資料（ファイル名）		第35回大阪府理学療法学会大会収支報告書	
	対応部局または理事氏名		理事 都留 貴志	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	都留 貴志		職名	教育局理事
議題	第35回学術大会収支報告書の修正について			
内容及び 提出趣旨	<p>第35回大阪学会の収支報告書は、9月のセンター理事会で報告されましたが、報告後に訂正がありました。変更箇所と経緯は以下の通りです。</p> <p>【勘定科目の変更・追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■グランキューブ関連の費用について：支払い手数料、雑費等→賃借料に変更 ■PC関連パーツ購入について：雑費→消耗品へ変更 <p>【総額自体の変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ランチョンセミナーでの弁当代について企業に直接請求書送付するものと認識していたが、企業→センターに入金、センター→グランキューブに支払いとなっていた。センター→グランキューブへの支払いのみ支出として計上されていたため、税理士と相談した上で企業→センター入金分と、センター→グランキューブ支払い分を預り金として、それぞれ計上するように修正した。 			
	添付資料（ファイル名）	35 th COPT 収支報告書		
理事会での 意見・内容等	第35回大阪学会の収支報告書の件と同じ			
備考	対応部局または理事氏名		理事 都留 貴志	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	都留 貴志		職名	教育局理事
議題	前期研修履修に関する報告			
内容及び提出趣旨	<p>10月5日入会者615名に対し、前期研修eラーニング登録者265名(43.1%)と協会より情報がありました。前期研修の履修状況を分析し、対応について報告します。</p> <p>■分析事項</p> <p>①A項目履修者の8～9割が、センター主催研修の登録者である ②eラーニングと併せたA項目受講率は4割前後である ③(9月以降登録の)B・C項目の受講数が著しく低い ④ガイダンス後に入会手続きに至っていない対象者が相当数いる</p> <p>■対策事項</p> <p>①11月2日付 協会eラーニングへの誘導案内 → 来年度以降、6～7月の前期研修時にも案内 ②9月のタイミングで、eラーニングの登録案内を定例化</p>			
	添付資料(ファイル名)	前期研修履修に関する報告書		
理事会での意見・内容等	<p>都留理事より、前期研修履修について資料に基づいて報告があった。入会者615名に対し、前期研修eラーニング登録者265名(43.1%)であったことについて、要因分析として①A項目履修者の8～9割がセンター主催研修の登録者であること、②eラーニングと併せたA項目受講率は4割前後であること、③(9月以降登録の)B・C項目の受講数が著しく低いこと、④ガイダンス後に入会手続きに至っていない対象者が相当数いることが説明された。特にB・C項目受講数が著しく少ないことについては、周知不足であることや、入会者そのものの減少なども要因になることが議論された。今後の対策として、①11月2日付で協会eラーニングへの誘導案内を行うこと、②9月のタイミングで、eラーニングの登録案内を定例化することが説明された。</p>			
備考	対応部局または理事氏名		理事 都留 貴志	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	鈴木俊明	職名	生涯学習局 理事
議題	3士会合同研修会の準備状況報告		
内容及び 提出趣旨	<p>11月6日(月)に本会の外部監事である黒田監事(ST士会)、神尾監事(OT士会)、田籠局長、東藤副部長、鈴木の5名で研修会の方向性について検討した。 その結果、以下のような研修会を企画することが決定した。</p> <p>1 時期 9月初旬あたりで森ノ宮医療大学を会場に開催したい。 具体的には、9月1日(日)、8日(日)を希望。</p> <p>2 開催形式 午後半日開催 3士会よりテーマに関するシンポジウム(40分×3士会 120分)を行い、その後に総合討論(90分)を行う。</p> <p>3 テーマ PT、OT、STのリハビリテーション専門職は障がいをお持ちの方の社会参加を促す重要な役割を担っているという観点より、「社会参加」に関するテーマを考えていきたい。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師選定は、各士会にお任せするが、大阪府に勤務するPT・OT・STが連携する目的もあるために、各士会の会員より行う。 将来的には、複数の会場を用意して、さらに専門的なディスカッションができるようなスタイルも考えていく。 今後、専門職対象の研修会だけでなく、大阪府民対象の講演会も企画することで、リハビリテーション専門職の役割も認識していただき、大阪府民の健康を守るような位置付けとして考えていきたい。 		
	添付資料		
理事会での 意見・内容等			
審議結果	鈴木理事より、3士会合同研修会の準備状況について資料に基づいて報告があった。11月6日(月)に本会の外部監事である黒田監事(ST士会)、神尾監事(OT士会)、田籠局長、東藤副部長、鈴木の5名で検討した結果、開催時期は9月初旬、会場は森ノ宮医療大学、開催形式は午後半日開催、テーマは「社会参加」、講師選定は大阪府に勤務する各士会の会員より行うことが説明された。また、将来的には複数の会場を用意し、専門的なディスカッションを計画すること、大阪府民対象の講演会も企画することが説明された。		
備考			
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 鈴木俊明	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	田箆 慶一	職名	生涯学習局長
議題	『主催』研修会開催マニュアルの改訂について		
内容及び 提出趣旨	<p><主な変更点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自要件である講師が登録理学療法士（認定・専門を有しない）場合の研修会の開催について注意を記載した。（3 ページ） ・申請からセミナー登録までの流れにおいて、理事会承認後にセミナー登録用書類を再度提出してもらいセミナー登録を実施していたため士会にとって二度手間となっていた。初めに開催申請書とセミナー登録用書式を合わせたもので申請してもらうことで、理事会承認後にそのまま事務員がセミナー登録できる流れにした。（2、4 ページ） ・申請先が研修部の支部担当者となっていたが、任期を終えると変更していくことから、申請用の窓口となるメールアドレスを用意した。（4 ページ） ・受講料・講師謝金等の表に「消費税込」の文言を加えた。（8 ページ） <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ番号の追加 ・ファイル呼称の修正・変更 		
	添付資料（ファイル名）	『主催』研修会開催マニュアル（市区町村士会用）_2023.11.14.pdf	
理事会での 意見・内容等	田箆局長より、主催研修会開催マニュアルの改訂について資料に基づいて報告があった。主な変更点として、独自要件である講師が登録理学療法士（認定・専門を有しない）場合の研修会の開催について注意点を記載したこと、申請からセミナー登録までの流れにおいて、開催申請書とセミナー登録用書式を合わせたもので申請してもらうことで、理事会承認後にそのまま事務員がセミナー登録できる流れにしたことが説明され、承認となる。射場副理事より、マニュアルの巻頭に変更内容の要点を明示することが分かりやすいとの提案があった。		
備考			
	対応部局または理事氏名	局長 田箆 慶一	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	中野治郎	職名	生涯学習局理事
議題	2024年度理学療法士講習会（協会助成金）の採用について		
内容及び提出趣旨	<p>（提出趣旨）</p> <p>2024年度理学療法士講習会（協会助成金）を募集したところ、1件の応募がありました。（資料）</p> <p>この内容について、受託研修部（講習会）で審査した結果、50点満点中42点であり、十分な内容であると判断されました。</p> <p>この理学療法士講習会（協会助成金）を採用し、協会に提出することを審議していただきたい。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
	添付資料（ファイル名）	2024年度理学療法士講習会申請書	
理事会での意見・内容等	受託研修部にて審査を行った結果、申請要件を十分に満たしていると判断し上村洋充先生（大阪鉄道病院）の「急性期呼吸理学療法の臨床実践」を申請することで承認された。		
備考			
	対応部局または理事氏名	理事 中野 治郎	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	鈴木俊明		職名	理事
議題	次年度の臨床認定カリキュラムの参加費、講師料について			
内容及び 提出趣旨	<p>次年度の臨床認定カリキュラムは、現行の運動器（脳卒中は中止）と新しく循環の2領域で実施します。</p> <p>次年度の講習会の参加費と講師料を検討させていただきました。</p> <p>近畿近郊の認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関を調査しますと（資料1）、本会の参加費30,000円も多く存在しますが、7,000円～32,000円と様々でした。そこで、参加費と講師料について、いくつかのパターンを作成しました（資料2）。</p> <p>その結果、参加費、講師料ともに20,000円（現行30,000円）が妥当と考えます。ご審議宜しくお願い致します。</p>			
	添付資料	<p>資料1 認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関</p> <p>資料2 収支計および最小催行人数</p>		
理事会での 意見・内容等	<p>鈴木理事より今年度で脳卒中は終了とすること、他団体が開催する参加費を調べた結果、参加費に幅があることが分かった。当センターの設定金額は妥当ではあるが、採算面で検討が必要である。鈴木理事より複数パターン of 収支予算案の説明があった。その中から最も適当である案は20,000円(参加費/講師料)となりセンター講師謝金規程の要件に合致しないため、本件は限定として扱うことで承認された。採算が取れば、講師謝金規程の見直しの前例となりうる。</p>			
審議結果				
備考				
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 鈴木俊明		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	鈴木俊明	職名	理事
議題	受託研修部(認定カリキュラム事業)部員増員について		
内容及び 提出趣旨	<p>10月29日(日)に関西医療大学に6名の部員(旧部員2名を含む)で集まっていたいただき、運動器、脳卒中2領域のオンラインでの講習会を開催させていただきました。現在、受託研修部の認定カリキュラム事業の部員は5名ですが、今回1名の部員が参加できませんでした。新部員になり初めての企画でしたので、引き継ぎも含めて旧部員2名にも応援いただきました。</p> <p>運営には、各領域で3名の担当が必要になりました。その3名の担当は、総括、司会、質疑応答対応を担当していただきました。</p> <p>今回、円滑に運営できましたが、現行の部員数ですと、2領域同時の運営は困難であると考えます。</p> <p>そこで、今回2名の部員の増員をお願いしたいと考えました。ご審議をお願いします。</p>		
	添付資料		
理事会での 意見・内容等	鈴木理事より今年度実施した際に部員配置の問題が浮かび明らかな部員不足が生じたため急遽、旧部員(2名)に応援を依頼したとの報告があった。次年度も運営を円滑に進めるには部員増員が不可欠であると判断し増員2名について承認された。		
審議結果			
備考			
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 鈴木俊明	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	鈴木俊明		職名	査読委員会 委員長
議題	査読委員会の役割および査読候補者について			
内容及び 提出趣旨	<p>査読委員会の業務を明確にするために、生涯学習局学術誌編集部および教育局学術大会部との協議において査読委員会の業務内容について検討した（資料1）。ご審議お願いしたく存じます。</p> <p>また、査読候補者リストに関するアンケート調査の集計を致しました（資料2）。集計報告と査読者の任期についてご審議お願いしたく存じます。</p> <p>任期は令和7年度定期総会の終結の時までとして、査読者には「査読候補者リスト 査読者」として委嘱状を発送したいと思えます。</p>			
	添付資料	<p>資料1 査読委員会の業務内容</p> <p>資料2 査読候補者リストの集計結果</p>		
理事会での 意見・内容等	鈴木理事より査読候補者 452 名に対し委嘱状発行の要望と査読委員会の業務内容に関する内規の提出があり承認された。			
審議結果				
備考				
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 鈴木俊明		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	都留 貴志	職名	教育局理事
議題	36回大阪府理学療法学会大会開催企画書・事業予算書について		
内容及び提出趣旨	第36回大阪府理学療法学会大会の開催企画書・事業予算書が作成されましたので、内容についてご審議のほど宜しくお願い申し上げます。		
	添付資料（ファイル名）	第36回大阪府理学療法学会大会開催企画書 第36回大阪府理学療法学会大会事業・予算書	
理事会での意見・内容等	<p>①鈴木理事より、本学会は若手理学療法士が対象となる位置づけからすると、全演題を口述発表のみとする意図について質問があった。齊藤準備委員長から、一つ目には感染対策が理由であること、二つ目には前回大会からの継続として、企業展示数を増やすことが目的であることが説明された。</p> <p>②工藤理事より、学生の発表についても口述発表のみになるのかとの質問があった。齊藤準備委員長から、学生も全て口述発表となることが説明された。</p> <p>③中川理事長より、若い会員が発表する場の提供が大きな目標であることから、タイムスケジュールとして一般演題、シンポジウム、特別講演などが重複すると、一般演題に聴衆が集まらないことが予測されることが指摘された。齊藤準備委員長から、タイムスケジュールを再検討することが説明された。工藤理事から、参加者の動線を読んでタイムスケジュールを立案することの助言があった。</p> <p>④鈴木理事より、大会テーマが大きいため、細目を設定し参加者へのメッセージを具体的に表現する工夫が必要であることが提案された。テーマであるリハビリテーション分野のDX化が、若手の研鑽にどのようにつながるのか、参加者に分かりやすく伝えることを検討することとなった。</p> <p>⑤射場副理事長より、非会員の参加費は規定により2万円であるため、訂正が必要との指摘があった。また当日の受付で、名札を配布し会場内は常時携帯してもらうことを徹底することの要望があった。</p> <p>⑥工藤理事より、他職種の参加費が1000円であること意図が確認された。射場副理事長より、参加費はセンターの規定に則っていることが説明された。また、受付時に他職種と非会員の区別をどのように行うのかについて検討する必要があることが指摘された。</p> <p>⑦井阪副理事長より、会場を当日早朝利用（午前6時～）することについて、スタッフの前泊、講師の前泊が必要になるのであれば、予算に計上することが必要との確認があった。齊藤準備委員長から、スタッフについては原則当日移動が可能であることが説明された。講師は前泊を予定しているが予算案に明記されていないため、再検討となった。</p> <p>⑧井阪副理事長より、協会のクレジット決済ではなく、センターで利用しているクレジット決済代行STORESを利用することの要望があった。目的としては、参加者に会員登録をしてもらうことであることが説明された。齊藤準備委員長から検討することが回答された。</p>		
審議結果			
備考	大会長立候補者の届出がなかった場合の緩和措置（第7条(3)） 1. 業績評価において、A項目、B項目、C項目の合計点が30点以上 （A項目5点以上、B項目15点以上、B項目+C項目25点以上） ※上記の条件は満たしております		
	対応部局または理事氏名	教育局 都留貴志	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	井阪 美智子	職名	副理事長
議題	財務処理に係る「規定」の改定について		
内容及び提出趣旨	2023年10月1日から施行されたインボイス制度に伴い、財務担当者が財務処理を円滑に進めるため、対象となる規程のうち金銭に関する条項については、消費税及び源泉徴収税等の税を明示することにしたのでご審議のほどよろしくお願い致します。		
	添付資料（ファイル名）	Word 財務関係内規改定(20231106)	
理事会での意見・内容等	井阪理事よりインボイス制度の導入に伴い、謝金等の税金に関する規定について該当する全ての規程について消費税及び源泉所得税の表記を追加するとの説明があり承認された。		
審議結果			
備考			
	対応部局または理事氏名	副理事長 井阪 美智子	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	井阪 美智子	職名	副理事長
議題	財務処理に係る内規の改定について		
内容及び 提出趣旨	2023年10月1日から施行されたインボイス制度に伴い、財務担当者が財務処理を円滑に進めるため、対象となる内規のうち金銭に関する条項については、消費税及び源泉徴収税等の税金を明示することにした。 また、財務部のマニュアルも現況に合わせて改定したのでご審議のほどよろしくお願い致します。		
	添付資料（ファイル名）	Word 財務関係内規改定(20231106)	
理事会での 意見・内容等	井阪理事より財務処理に係る規程の改定に伴い、内規も改定内容に合わせるとの説明があった。 本件は承認された。		
審議結果			
備考			
	対応部局または理事氏名	副理事長 井阪 美智子	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	工藤慎太郎		職名	生涯学習局理事
議題	第6回生涯学習研修集会の講師選定について			
内容及び 提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>2024年度開催予定の第6回生涯学習研修集会の講師について、研修集会部で検討したため、ご審議頂きたい。</p> <p>【基本的な考え方】</p> <p>領域は第5回生涯学習研修集会後のアンケートおよび対面での実技が可能であるかを考慮し、内部障害(循環器)1、神経系3、運動器3の計7領域としています。選定基準は各領域のトップランナーであり、多くの理学療法士に対面での熱量を感じつつ学んでほしいと感じる講師を選定しています。また、領域内でも内容が重複せず、多くの参加者のニーズに該当するように検討した。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>			
	添付資料(ファイル名)	講師候補 2024		
理事会での 意見・内容等	<p>工藤理事よりニーズと集客を考慮するとなかなか厳しい状況である。技能を高める狙いを尊重すると同じテーマに偏りやすいとの説明があった。“集会”を意識した企画が望ましいとの意見もあり、現行の企画にプラスαして検討していくこととなった。講師候補リストのうち神経系のボバースアプローチを除く提案は先に承認され、プラスαの企画については継続審議となる。</p>			
備考				
	対応部局または理事氏名	理事 工藤 慎太郎		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	工藤慎太郎		職名	生涯学習局理事
議題	市区町村士会からの要望の検討について			
内容及び 提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>市区町村士会からの要望について、適切に対応するため、4月と8月に対応を1元化して、理事会で取り上げたい。 その旨を市区町村士会に伝達し、メールアドレスにて一元化したい。 また、現状の枚方市理学療法士会からの要望に対して、対応の是非を検討して頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望は受け入れられない。 ・マイページではなく、独自の募集方法を検討して頂くことで、問題は解決できる。 <p>【基本的な考え方】</p> <p>添付資料の如く、枚方市理学療法士会から多くの要望を頂き、その都度、担当者が対応しているが、要望内容が担当者の裁量範囲を超える。また、原則ルール範囲内で事業を企画して頂くべきことであり、センターとしてはこれ以上細やかな対応をすることで、センタースタッフの疲弊を案じている。</p> <p>添付資料：あり</p>			
	添付資料（ファイル名）	枚方市士会からの要望		
理事会での 意見・内容等	<p>工藤理事より主に枚方市士会からの要望について説明があった。各市区町村士会からの個別の要望に対応することは難しいためセンターとしては4月、8月に一括して要望への回答を行う提案がなされ承認された。</p>			
備考				
	対応部局または理事氏名	理事 工藤 慎太郎		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	實光 遼		職名	理事
議題	Zoom 新規契約について			
内容及び 提出趣旨	<p>大阪学会専用アカウントが必要な状況となったことや、研修部情報管理局 SE 部管理の Zoom の利用数の増加に伴い、予約管理が過多になっていることを踏まえ、現在の 4 ライセンスから「生涯学習局 2 ライセンス、教育局 2 ライセンス、大阪学会 1 ライセンス、SE 部 1 ライセンスの合計 6 ライセンスへの追加をご検討いただきたく存じます。</p> <p>予算計上は SE 部からと考えておりますが、事業予算を超えてしまうため、その点もご審議いただきたく存じます。</p>			
	添付資料（ファイル名）			
理事会での 意見・内容等	<p>實光理事より各部の活動に対応する ZOOM 予約対応に追い付かない状況であり、情報管理局に大きく負担が掛かっているため、使用の多い部に対し、部専用の ZOOM を配置したいとの要望があった。本件については、令和 5 年度予算未計上であるが、可及に対応する案件のため追加 6 件の契約について承認された。次年度は今年度の利用状況を見て契約減数する可能性もある。</p>			
審議結果				
備考				
	対応部局または理事氏名	理事 實光 遼		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	實光 遼		職名	理事
議題	Microsoft 365 Business Standard 新規契約（まずは 1 ヶ月無料）について			
内容及び 提出趣旨	<p>導入を審議していただきたい詳細な背景は口頭で説明致しますが、現在、情報管理局だけでなく、各局で動画やファイルが多く存在していることと思います。それらの保存・管理が各部員の何らかの持ち物に頼っているものと認識しています。また、1 つの資料を共有する際にメールを使用か、無料のストレージを駆使する機会が多く、各個人でも情報管理が大変であると推察します。その改善のために上記の案をまずは 1 ヶ月間無料プランの使用を提案したく下記を踏まえ審議をお願い致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 各データ管理を一元化し共有を容易にすること、SharePoint で各サイトを立ち上げ共有、Slack との連携、必要書類の共同編集及び管理も含めて可能であり、会議録も保管できれば役員も随時進捗状況を確認できる。 ② 各局・部のマニュアルの保存及び管理も可能。 ③ OneDrive の導入だけでも、URL で資料の共有及び共同編集などが可能。 ④ 事務員の作業効率の向上 (Office もサブスクで利用できる) ⑤ 先日出ていた部員への動画共有ツールとできること (Vimeo とでメリット/デメリットがあるため比較次第で要検討) ⑥ トレロを使用せずとも SharePoint で各局・部のサイトを作成後、閲覧すれば進捗状況の確認が可能。 ⑦ SharePoint まで導入する際は、デメリットとして使用者の IT スキルが各部に必要であり、現在の労務を考えると一時的に負担が増えてしまうこと 			
	添付資料（ファイル名）	<p>【図解】SharePoint とは？ 便利な活用方法をわかりやすく解説 365 日 Office ライフ! (onamac-office.com)</p>		
理事会での 意見・内容等	<p>實光理事より各部のデータ管理を一元化し、情報共有の促進を図るためまずは試行したいとの説明があった。実施して仕様性などを確かめ導入に向けて報告を行うことで承認された。</p>			
審議結果				
備考				
	対応部局または理事氏名	理事 實光 遼		